

教 区 報

山 口

No.207

2017年
(平成29年)

10月

発 行・「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会

編 集・広 報 教 材 部



第47回寺院子弟サマーキャンプ

期日：7月27日(木)・28日(金) 会所：周南組光満寺

「伝灯奉告法要御満座の消息」披露 総局巡回・公聴会開催

9月14日(木)、第25代専如ご門主の「御消息披露式典」並びにご消息趣旨演達を行うため総局巡回が実施された。また、ご親教「念仏者の生き方」に学ぶとともに、特に災害対策金庫の新たな原資の確保、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)・重点プロジェクト改定案と宗門の重要課題についてご意見等をいただきたくして公聴会が併催された。宗派より池田行信総務をはじめ弘中貴之副総務、深水健司特命布教講師、藤丸智雄浄土真宗本願寺派総合研究所副所長、宗本昌延所務部〈法制・訟務・契約事務担当〉部長、伊東一樹浄土真宗本願寺派総合研究所賛事が出向され、教区内より、宗会議員・教区会議長、組長、副組長、実践運動教区委員会委員、住職、教化団体役職者など、127名出席のもと、山口別院にて開催された。



深水健司氏



池田総務

第1部 御消息披露式典

第1部では、「伝灯奉告法要御満座の消息」が池田総務より披露・伝達・趣旨演達され、併せて、特命布教講師 深水健司氏(四州教区今治組太平寺)より法話をいただいた。

第2部 公聴会

第2部の公聴会では、木下教務所長、池田総務が挨拶され、伊原宗信教区実践運動副委員長を座長とし、本会が進行された。まず、「念仏者の生き方」に学ぶと題して、藤丸副所長よりご講義をいただき、その後、宗本部長より映像を交えて伝灯奉告法要の報告があり、藤丸副所長より「平和に関する論点整理」をテーマとした公聴会の意見集約について報告がなされた。続いて宗本部長が左記協議事項について意向説明した。

- ①(特) 災害対策金庫の新たな原資の確保

特別会計災害対策金庫の新たな原資の確保 について(案)

当金庫は、阪神淡路大震災を機縁に宗門内寺院の救援復興対策として全寺院協力金を依頼し、これを原資として設定された。新たな原資の確保として共助の制度であるという観点から公平に全寺院にご協力いただきたく新たに賦課金

- ② 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画・重点プロジェクト改定
- ③ 十年、二十年後の日本社会で求められる僧侶像・寺院像

その後、出席者との活発な質疑応答が行われ、教区からの意見として持ち帰り検証する事となった。



宗本部長

の一部に組込んで行く事を検討中である。「皆さまからのご意見をふまえて、総局にて精査検討した上で平成三十年度からの制度策定に向けて取り組んでいく。」と述べられた。

●第1案 保険を長く継続することを主とし併せて災害対策金庫の充実を図る案

宗派加入全寺院対象の「災害見舞金給付制度に伴う約定履行費用保険」を継続し、併せて(特)災害対策金庫の充実をはかることのできるよう期限を設けずに依頼。なお、算出・設定については、現状の保険料の値上げも見込み、その合計を現行保険料(3800万円)の約2倍を目安とし、年間保険料の支払いと積立も行い充実をはかる。

算定案

- ①全寺院一律に1ヶ寺年10,000円または1ヶ寺年7,500円を依頼する
- ②各寺院規模に応分し、年間約7,600万円となるように現賦課金を基準に調整する
実例：①賦課金告知額×0.04 ②第2種賦課金(僧班点数)×580円

●第2案 期間を10年間に区切って依頼する案

年間依頼総額1億円を平成30年度より平成39年度までの10年間依頼。

算定案

- ①全寺院一律1ヶ寺年10,000円を依頼する
- ②全寺院一律第1種賦課金均等割当点数に4点を加算する
- ③年間約1億円となるように各寺院規模に応分し、現賦課金を基準に調整する
実例：①賦課金告知額×0.055 ②第2種賦課金(僧班点数)×800円

【変更点】

- 案①ご親教『念仏者の生き方』並びに『伝灯奉告法要御満座の消息』を引用し、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する活動(実践運動)の意義大切さを示す。
- 案②スローガン『結ぶ絆から、広がるご縁へ』は踏襲。
- 案③専如ご門主が具体的な念仏者の生き方を提示されたことを受け、次期「重点プロジェクト」では『念仏者の生き方』を体した宗門全体の「実践目標」を定め、宗門全体が一体感を持って取り組む。尚、現場における喫緊の課題は地域差もあり様々のため、従来通り各教区・各組において独自に定めた「実践目標」を設定し、宗門全体の課題と併せて取り組みことも可能。
- 案④重点プロジェクト推進期間(現行3年)を次期は2年とし、教区役職者等との任期を合わせ、その次の期間からは4年間の推進期間とする。

次年度からの次期重点プロジェクトの策定にあわせ、標記改定を行う。性質上たびたび内容を変更すべきものではないが、専如ご門主のご親教『念仏者の生き方』並びに『伝灯奉告法要御満座の消息』が発布されたことを受け、そのお心を体した内容に改定をする。公聴会をはじめ様々な会議を経て、標記計画・プロジェクトは年内に策定予定。

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画・重点プロジェクト改定案

質疑応答・挨拶

改定案の説明の後、僧侶像・寺院像を基とした人物像定義(案)の説明があり、その後議題ごとに活発な意見交換が行われた。主には、護持口数調整、災害対策金庫の新たな原資の確保、僧侶・教師資格更新研修、振興計画のサイクル、伝灯奉告法要映像DVDの各寺院配布、伝灯奉告法要参拝者への教化活動、宗門総合振興計画の過疎対応支援員の概要・基準・経費、平和に関する論点整理、教団内部の人・組織等の質問があり、弘中副総務をはじめ、各担当者より回答があった。最後に池田総務よりまとめの挨拶があり、閉会となった。



質問された方々

弘中副総務

臨時教区会開催

去る7月21日(金)に、別院大会議室において、2017(平成29)年度臨時教区会(児玉正悟議長)が開催され、提出された財務承認議案・法規議案は、原案通り可決された。議案は次の通り。

【財務承認議案】

2016(平成28)年度一般会計歳計決算・特別会計歳計決算(寺院災害見舞金会計・退職積立金会計・伝道車購入積立金会計・御仏飯料会計・平衡資金会計)

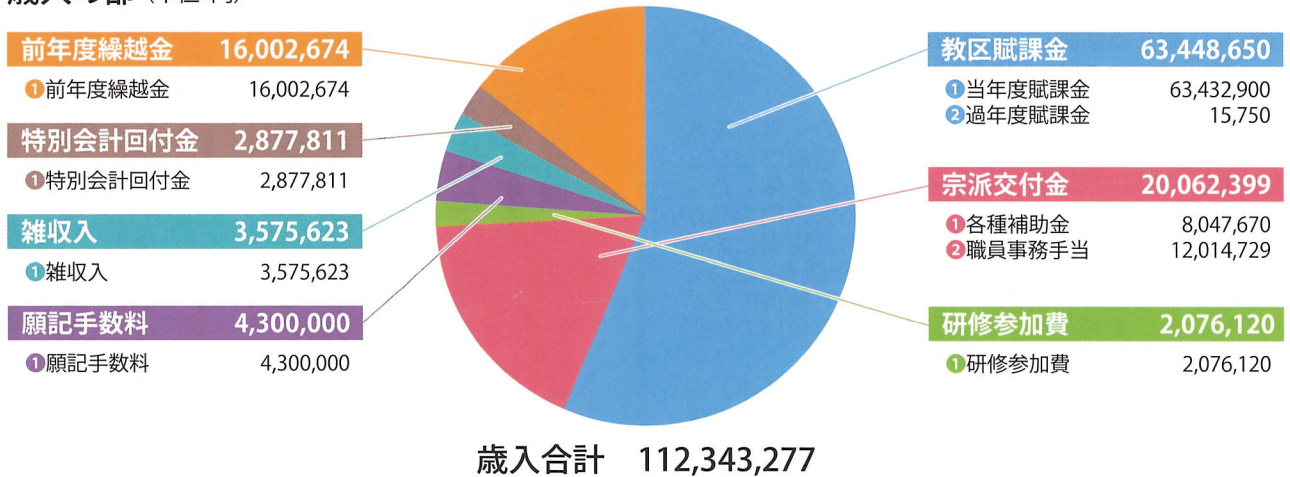
【法規議案】

本願寺山口別院御仏飯料進納に関する規則区令案・山口教区教務所職員退職金支給規程の廃止に関する区令案

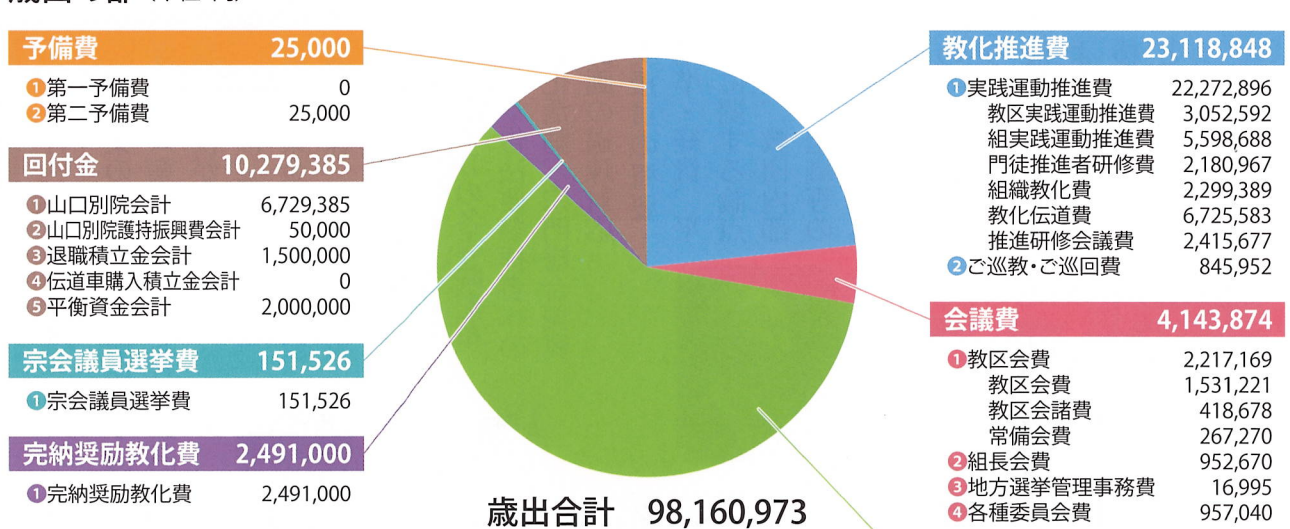
2016(平成28)年度 山口教区一般会計歳計決算並説明

自 2016(平成28)年4月1日 至 2017(平成29)年3月31日

歳入の部 (単位:円)



歳出の部 (単位:円)



教務所費 57,951,340					
①人件費 46,813,099	②事務費 8,892,347	③諸費 2,245,894			
俸給 23,002,520	通信費 2,591,978	慶弔費 649,638			
諸手当 4,127,000	出張費 2,632,144	渉外費 267,611			
賞与 7,942,858	事務諸費 3,668,225	雑費 475,573			
福利費 7,205,744		伝道車関係費 853,072			
退職手当 4,534,977		伝道車購入費 0			

山口教区子ども・若者ご縁づくり 推進委員会発足

副委員長就任挨拶



下松組専明寺
藤本 弘信

この度、山口教区でも「子ども・若者ご縁づくり推進委員会」が発足しました。本会は子ども・若者を対象として、ご縁ある大人が接点を持ち、全世代がお寺を居場所としながら「手を合わせ、お念仏申す人」となることを目的とします。

すでに委員会が設置される前より、多くの方が様々な形で次世代への布教・伝道、ご縁づくりにご尽力されてきました。その経験を共有し各寺で活かす事で、さらに次の段階での「ご縁をつくり」「ご縁をつなぎ」「ご縁を深める」ところが出来るのではないのでしょうか。

それには、それぞれの地域の実情に合わせた、寺院、僧侶、門信徒一人一人の活動が重要になります。そのために教化団体や皆様のお力添えをいただき、本会が架け橋となり、出来る人が出来る事から取り組める活動を提案し、次の世代へお法を伝えることができるよう努めてまいります。

委員名簿

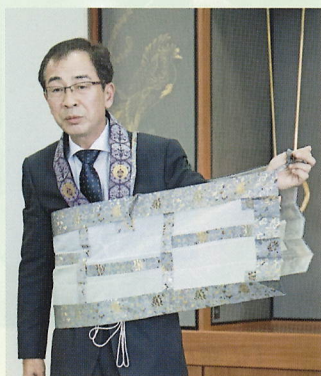
任期/2017年度～2018年度

No.	役職	組	寺院	氏名	備考
1	委員長			木下 祐祥	教務所長
2	副委員長	下 松	専明寺	藤本 弘信	旧キッズサンガアドバイザー
3		大 津 東	浄土寺	荻 隆宣	実践運動委員会副委員長 青年教化指導員
4		山 口 南	正法寺	久保 實	門徒総代会会長
5		柳 井	法樹寺	前田 浩治	仏教壮年会連盟理事長
6		岩 国 北	西照寺	福田 厚子	仏教婦人会連盟委員長
7		宇部小野田	照明寺	藤岡 真治	少年連盟委員長 旧キッズサンガアドバイザー
8		宇部小野田	法泉寺	中山 昭乗	旧キッズサンガアドバイザー
9		厚 狭 西	永福寺	角 典昭	旧キッズサンガアドバイザー
10		山 口 南	教證寺	小池 俊章	旧キッズサンガアドバイザー
11		周 南	宝性寺	御園生宣尚	旧キッズサンガアドバイザー
12		宇部小野田	法輪寺	藤井 敬道	旧キッズサンガアドバイザー
13		宇部小野田	法泉寺	中山 教昭	思春期・若者支援コーディネーター

第四連区勸式研修会

この度、「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会寺院活動支援部主催にて第四連区勸式研修会が開催された。株式会社川勝法衣店の営業部長、砂原一実氏に「衣体について」のご講義をいただき、各教区より合計五十名の参加があった。講義の中で、大谷家が使用する特別な衣体や、衣体の歴史、実際に寺院で使用・保管する際の注意点などを教えていただき、現在では使われていない衣体の着用や、輪袈裟を解いて五条袈裟になるところを実演していただいた。そのほか打敷や戸帳などの荘厳についての説明もいただいた。

衣体について学ぶ事は少なく、大変良い研鑽の機会となった。



わが組の 実践運動

今回は岩国北組の取り組みについて、岩国北組善教寺を訪ね、榛澤勉組長と岡崎公隆組実践運動推進委員長にお話を伺いました。

岩国北組の現状

基幹運動から実践運動に移行をした際に、組では実践運動推進委員会を設置し、その委員には、各任職、総代、教化団体の代表等で構成され、併せて常任委員会を置きました。組実践運動推進研修協議会を開催し、協議会での意見を常任委員会で集約。組実践運動推進委員会で決議し、ご門徒と共に実践運動に取り組んでいます。

岩国北組の組域は、少子高齢化、過疎が激しく進んでいる地域の一つです。組内(本郷町・美川町・錦町)の人口が四、三二六人、その中に十八ヶ寺があります。

榛澤組長は「組活動も限られた予算の中、従来の活動を継承しながら、今後の活動は、状況変化による対応が必要となっていくと思います。」とおっしゃいました。

①百号を迎えた組報『浄華』

その中で、約三十年続けておられたのが、組報『浄華』です。寺院だけでなく、ご門徒のお宅にも配って

おられます。年三回発行し、平成二十九年七月号で百号を迎えました。毎回、ご門徒参画の組報編集委員会を開催し、ご門徒の意見を取り入れ、工夫されながら作っておられます。



『浄華』100号

②門信徒・離郷門徒・子どもへの対応

年一回、組内寺院を巡回して勤め続けてきた組門信徒大会は、現在、錦町・錦ふるさとセンターを会場に開催しておられます。

今年で第四十六回大会となるそうです。組内各地から集まれるようにバスをだし、たくさんのご門徒がお参りを出来るよう工夫をしておられました。

さらには、離郷門徒に向けて岩国地区門信徒の集いも開催されています。準備も岩国市内で合同会議を行

い、市内のホテルを会場に毎年一回勤めておられます。

また、子供一泊研修会も開催され、離郷門徒にも呼びかけて、県内に止まらず、広島からの参加もあり、今年は三十七名の子供が楽しみました。これも約三十年続けている行事です。

③施設訪問・テレホン法話

「あさぎりの郷」(錦町)「美川苑」(美川町)「松風荘」(本郷町)の三ヶ所の福祉施設に訪問されています。また、組で開設したテレホン法話は、ご門徒が楽しみにしておられます。つながりという視点を大事にしていきたいと始められました。

④『仏事のしおり』

前々より、ご門徒からの疑問や質問に十分答え切れていないのではなにかとの思いや、組内門信徒の誰もが読んですぐわかる内容のものを作りたいという願いがあり、過去には『葬儀のしおり』を作成されました。

今度は仏事のことをという願いがあったので、何度も各任職やご門徒と会議を重ね、平成二十七年に『仏事のしおり』三千部を作成し、組内ご門徒のご家庭に一部ずつ無償で配られました。端的に答えたものとなっており、非常に喜ばれているものとなっています。



『仏事のしおり』
『葬儀のしおり』

⑤連研の再開

一時休止していた連研を、基幹運動から実践運動への移行をきっかけに、再開されました。二十五期が無事おわり、続いて二十六期が始まるそうです。

終わりに

岡崎公隆組実践運動推進委員長は「僧侶も常に課題意識を持つことが大切であり、そのためにも実践運動人権啓発推進僧侶研修会を確実に開催することが大切である。また、実践運動推進協議会の実施によってご門徒との共有すべき課題も明らかになる。この二つは実践運動推進のための両輪のような役割を果たしている切り離せない関係と位置づけていく。」とお話くださいました。

広報アンケート結果報告 ～寺報編～

先般、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)山口教区委員会の広報教材部より、教区内全ヶ寺の皆さまに広報アンケートを実施させていただきました。ご多用の中ご協力を賜り、誠に有り難うございました。

アンケート結果の中から、このたびは寺報に関わる内容を掲載いたします。各寺院運営の一助となれば幸いです。また、別院ホームページにて、アンケート結果を掲載する予定ですのでご清覧ください。

◆寺報発行について◆

回答があった寺院のうち、寺報を発行しているのは約4割。また、寺報を発行している寺院の中では、年間の発行回数5回以上が3割、体裁はA4の4ページが最も多い形式で、門信徒や地域の方々へ、法座案内・法話・寺院報告・仏事作法をお伝えされていた。

◇成果

- 法務、仏事作法に答える
- 寺に参れない人(遠隔地、高齢者、入院者等)への近況報告
- 作成に若い人が関わっていただけ
- 遠方の方の寄付で充分まかなえている

◇工夫

- 定番のコーナー 参)「あなたの窓」「開かれたお寺をめざして」
- 分かり易くて読みやすい紙面作り 参)・文字サイズ14P以上→年配の方のため
- カラー印刷
- 写真(門信徒の名前入り)

◇課題

- ワンパターンにしてしまいがち(マンネリ化)
- コスト面 参)・カラー印刷にしたいがコストがかかる
- 郵送料
- イラストや4コマを入れたいが良い方法が見当たらない
- 法話面 参)・原稿依頼
- 平易な法話がない
- 法座のテープ起こしが大変

◇感想・意見

- 様々なところから反響があり、やりがいを感じる
- 住職の法話の実践になる
- 門徒に配布するが手応えがない、寺参りに結びつかない
- 配布してくださる方が高齢化している

◇寺報以外の機関紙(例えば教化団体発行、フリーペーパーなど)発行

- 法座案内
- 時々「ちらし」程度を発行、寺院PR紙を考えている
- 蓮の時期にお寺で咲いた花を絵はがきにして配布
- うちに御和讃を入れて配布
- 毎月1枚「月のことば」(一言法話)を作成し、法座等で配布
- 町内の若手僧侶の会が運営するテレフォン法話のチラシを作るようになったら、定期的に聞く方が増えた
- リーフレット(ご門徒の疑問に回答、中陰、永代経納め、仏壇、法名など)
- 仏壮・仏婦だより
- 時々法座の案内状と一緒に、宗報や季刊せいてん、本願寺新報、その他の書籍の記事をコピーしたもの等を同封
- 家庭教育誌「ないおん」
- 住職便り(裏頁に法座参詣懇志者の名前)

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

平和の鐘

第三十七回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要は、台風十八号の影響により中止となったが、当日天候が良好になったこともあり関係者で勤行等が行われた。

戦後、浄土真宗本願寺派では、本願寺ならびに大谷本廟にて、「戦没者追悼法要」を修行し、一九八一年からは、毎年九月十八日に、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、「全戦没者追悼法要」を修行している。

「全戦没者」という言葉には、人類が繰返してきた戦争によって、尊い命を失われた世界中の全ての戦争犠牲者への思いが込められている。

九月十八日は、十五年にわたる「アジア・太平洋戦争」につながっていた「満州事変」の発端である「柳条湖事件」(一九三一年)が起こった日で、宗門として、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、修行さ



「平和の鐘」実施のようす

法要では、宗門として恒久平和への願いを新たにすため「平和宣言」を行い、さらに「平和の鐘」を撞く。

「平和の鐘」は、仏のみ教えと、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で誓われる平和への決意を日本国内外に響かせ届けたいという願いのもと始められた。

本年は山口教区内一六四ヶ寺の寺院が、同日同時に梵鐘(または喚鐘)を撞くことで千鳥ヶ淵戦没者墓苑から発信する平和への願いを全国に広げる活動を行った。

この活動に教区全寺院が共鳴し、平和への願いが世界へと拡がっていくことを願う。

7月8日

第十九回仏教讃歌のつどい

萩組光山寺コーラス無憂華 山中喜久子

萩市民館で、「第十九回仏教讃歌のつどい」が開催され、山口教区内の合唱団(十四団体)が参加しました。

「まるでプロの合唱団の演奏会みたいだったね。」聴きにきてくれた友達の感想です。

「お寺に合唱団があり、仏教讃歌を歌っているのよ。」と話しても理解できなかった彼女が、演奏会を目の当たりにし、その素晴らしさを、やっと共感してくれました。

お引き受けした萩組光山寺コーラス無憂華ですが、たくさんの方々がお手伝いください、その輪が、これからの様々な活動に広がっていきます。ありがたいことです。楽しみです。



全体合唱のようす



総代会公開講座

10月3日(火)



講演のようす

山口教区門徒総代会の主催で、「公開講座」が開催されました。教化団体の枠を超えて幅広く呼びかけられ、教区内から二三〇名の参加をいただきました。

ご講師は、宏林晃信氏（兵庫教区 阪神南組浄元寺住職）で、「ふるさとからの声を聞く」と題して、一時半にわたり、分かりやすく、時にユーモアを交えながら丁寧な講演をいただきました。

「今生きている私たちの苦しみや悲しみを、苦しみのまま、悲しみのままに終わらせないと願われた阿彌陀さまがおられ、いつまでもどこまでもどんな私でも常に大丈夫、おかえり、よく頑張っているな！と丸ごと包み込んでくださるはたらきが南無阿彌陀仏のお念仏の中に込められているのだ。」とお話しくださいました。

そして、そのはたらきがあるからこそ、孤独ではな



講師：宏林晃信氏

く、決して裏切ることのない、決して壊れることのない、浄土という真のさとの世界、いのちのふるさとから今ここに南無阿彌陀仏として、支え共に歩いてくださっているのだと味あわせていただきました。

講座の終わりには参加者からも活発に意見が飛び交い、今の寺院の有り方などに触れた質問の折にはどちらも家を表す言葉である「ハウス」建物という意味での家」ととらえるか、それとも「ホーム」自分の家」ととらえているかで味わいが違ってくる等、一人ひとりがより深く見つめるご縁をいただきました。



合掌する参加者

山口教区寺族青年会「若朋会」

第四十七回 寺院子弟サマーキャンプ

サマーキャンプ実行委員長
周南組光満寺 冷泉 康正



今年の寺院子弟サマーキャンプは、七月二十七日(木)、二十八日(金)に周南市の徳応寺、回天記念館、大津島海の郷、光満寺にて開催しました。
はじめに徳応寺にて開会式を行い、持参したお弁当をいただいた後、フエリーにて大津島へ向かいました。
大津島到着後は、回天記念館にて館長より講話をいただき、発射基地を見学させていただきました。

実際に回天が発射された場所や当時の方々が残された手紙・遺品を拝見し、命の尊さについて考えるきっかけになつてくれ



ればと願っています。
見学の後は、海の郷にて、夕食のカレーライスのために飯盒炊飯を行いました。薪を割ったり、火打石を使って火をおこしてお米を炊いたり、普段の生活の中では体験出来ないことを、皆で協力し苦労して作った料理はとても美味しかったです。
また、翌日は光満寺にてうどん作りをしました。クーラーの無い中、皆で汗だくになりながら、粉から打つたうどんは格別の味でした。
普段はほとんど子どもいない大津島ですが、子どもたちの明るい声に、島民の皆さんも暖かく迎えてくださいました。
この度の寺院子弟サマーキャンプにお子さまを預けてくださった保護者の皆さま、また参加して下さった方々に御礼を申しあげます。

第二回例会

〜正しさへの依存・現代のカルト問題〜

下松組浄蓮寺 末武 寛行

九月二十五日(月)に真宗大谷派僧侶で、元親鸞会、日本脱カルト協会理事の瓜生崇先生をお招きして、「現代のカルト問題」についてご講演いただきました。

瓜生先生はオウム真理教の後継団体「アレフ」などのカルト宗教から抜けるための活動や支援をされ、住職としてお寺を護持しつつ、全国のお寺で布教活動をされています。
今回の研修を、まとめると以下の通りです。



講師：瓜生崇氏

①カルトは個人の自由や尊厳を侵害し、違法行為を辞さない集団のこと。ただし、教義や儀礼が正しいか間違いかで判断されるものではない。

②カルト問題は、正体を隠した勧誘、法外な献金や指導者の絶対服従、不安を煽る教え込み、脱会する自由を認めないなどがある。

③カルトと宗教の違いは、正しさ以外を許さないのがカルトである。人の生きる意味や生きがいなどの「正しさ」の定義は教団によって異なる。答えの無い人生に向き合う力を与えるのが宗教である。

その他に親鸞会の布教方法やカルト対策の一つとして法座の活性化についてお話いただきました。若手の研修会ということで、その場でしか聞けない緊張感ある話題もあり、瓜生先生の経験や熱意あふれる話に参加者は耳を傾けていました。



本願寺山口別院 『報恩講』

期日 11月25日(土)『帰敬式』…午後1時から
11月26日(日)・27日(月)・28日(火)…午前10時から・午後1時30分から

講師 井上慶真氏 (本願寺派布教使・長野教区正行寺)
※お齋^{とき}をご用意しております。有縁の方お誘い合わせのうえ、お参りください。

組別参拝日

[26日]
岩国組、玖珂西組、熊毛組、
下松組、山口北組、美祢西組、
萩組、大津西組、邦西組、
下関組
奉仕組 豊田組

[27日]
大島組、熊毛中組、熊南組、
熊濃組、防府組、華松組、
美祢東組、大津東組、白滝組、
小月組
奉仕組 豊浦西組

[28日]
美和組、柳井組、岩国北組、
山口南組、宇部小野田組、
厚狭西組、宇部北組、阿武組、
須佐組、豊浦組
奉仕組 周南組

本願寺山口別院 『初法座』のご案内

『初法座』とは、従来1月5日に『元旦会』としてお勤めしていましたが法座の名称を新たに設定したものです。元旦会は来年の1月1日午前7時にお勤めします。
例年の通り、初法座に続き新年互礼会(昼食会)を開催し、共々に新春の慶びを分かち合いたいと思いますので、有縁の方々お誘い合わせの上、ご参詣いただきますようご案内申しあげます。
なお、1日1日の元旦会にもご参拝いただきますよう、併せてご案内申しあげます。

- 日時** 2018(平成30)年1月5日(金曜日) 午前10時から
法要終了後、新年互礼会(無料)を催します
- 講師** 野村康治氏(大阪教区瑞松寺)
- 申込** 新年互礼会準備の関係で、2018(平成30)年1月2日迄に山口別院にお申込ください

お知らせ このたび、10月1日付にて、下記の職員が昇階した。

この度、山口教区教務所賛事を仰せつかりました。これもひとえに支えてくださった皆様のおかげです。心から感謝申しあげます。今更ながら職務の重要性を思いますとともに皆さまのお力添えをいただきながら、ご法義繁盛のため力を尽くす所存です。より広い視野をもって、宗務に携わっていきたいと思います。何卒ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申しあげます。



阿武正法賛事

この度、山口教区教務所主事に昇階いたしました。これも皆様のお育てのお陰であります。より一層責任ある立場となり身の引き締まる思いです。今後とも山口教区、別院のために精一杯努めていきますので宜しくお願いいたします。



津守真悠主事

別院・教区行事

12月		11月		10月	
25日(月)	5日(火)	31日(火)	30日(月)	29日(日)	28日(土)
別院常例法座 講師/伊東順浩氏(宇部小野田組蓮光寺) スカウト報恩講 講師/佐々木大乗氏(周南組真行寺)	別院常例法座 講師/伊東順浩氏(宇部小野田組蓮光寺)	得度習礼講習会 講師/山口教区勅式指導員	度度習礼講習会 講師/山口教区勅式指導員	同朋運動推進講座 講師/齊藤真氏(同和教育振興会理事・熊本教区光尊寺) 講師/川口泰司氏(部落解放同盟山口県連合会書記長)	同朋運動推進講座 講師/齊藤真氏(同和教育振興会理事・熊本教区光尊寺) 講師/川口泰司氏(部落解放同盟山口県連合会書記長)
山口別院	山口別院	山口別院	山口別院	山口別院	山口別院
		3日(金)	2日(木)	27日(金)	26日(木)
		公開講座 講師/宏林晃信氏(兵庫教区浄元寺)	公開講座 講師/宏林晃信氏(兵庫教区浄元寺)	第4連区門推進員実践運動研修会 講師/松月博宣氏(福岡教区海徳寺)	第4連区門推進員実践運動研修会 講師/松月博宣氏(福岡教区海徳寺)
		山口別院	山口別院	山口別院	山口別院
		5日(木)	4日(水)	24日(火)	23日(月)
		別院常例法座 講師/藤本唯信氏(下松組専門寺)	別院常例法座 講師/藤本唯信氏(下松組専門寺)	寺族婦人研究会 講師/外松太恵子氏(青少年カウンセラー)	寺族婦人研究会 講師/外松太恵子氏(青少年カウンセラー)
		山口別院	山口別院	山口別院	山口別院
		7日(土)	6日(金)	22日(日)	21日(土)
		中・四国真宗青年の集い山陰大会	中・四国真宗青年の集い山陰大会	連研のための研究会 講師/棚原正吉氏(連研中央講師・兵庫教区光輪寺)	連研のための研究会 講師/棚原正吉氏(連研中央講師・兵庫教区光輪寺)
		島根県立青年の家	島根県立青年の家	山口別院	山口別院
		8日(日)	7日(土)	20日(金)	19日(木)
		第4連区勅式研修会 講師/砂原一実氏(川勝法衣店営業部長)	第4連区勅式研修会 講師/砂原一実氏(川勝法衣店営業部長)	青年布教使大会(研修会) 特別講師/塚本慈顕氏(佐賀教区徳常寺)	青年布教使大会(研修会) 特別講師/塚本慈顕氏(佐賀教区徳常寺)
		山口別院	山口別院	山口別院	山口別院
		11日(水)	10日(火)	18日(木)	17日(水)
		第3回組長会	第3回組長会	第48回山口教区仏教婦人大会 講師/内田正祥氏(東海教区正覚寺)	第48回山口教区仏教婦人大会 講師/内田正祥氏(東海教区正覚寺)
		山口別院	山口別院	山口別院	山口別院

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、謹んで敬弔の意を表します
(平成29年7月～平成29年10月)

- | | | | |
|--------|-----|------|--------|
| 美祿東組 | 真教寺 | 前坊守 | |
| 松井 | 優子 | (70) | 7月26日 |
| 美祿西組 | 西園寺 | 住職 | |
| 瓜生 | 等勝 | (91) | 7月31日 |
| 邦西組 | 専教寺 | 前坊守 | |
| 中山 | 法恵 | (86) | 8月15日 |
| 宇部小野田組 | 三徳寺 | 前坊守 | |
| 藤本 | 常代 | (94) | 8月20日 |
| 豊田組 | 弘願寺 | 住職 | |
| 野村 | 正和 | (73) | 9月3日 |
| 阿武組 | 教専寺 | 住職 | |
| 後藤 | 舜昌 | (89) | 9月13日 |
| 美祿西組 | 正隆寺 | 前任職 | |
| 波佐間 | 正己 | (89) | 10月22日 |

別院に寄附

ご寄附をいただき、御礼申しあげます。
玉井良子様 輪番 夏用色衣



参 拝 者

- 教区外から次の方々をご参拝くださいました。
- 7月12日 福岡教区福岡組寺族婦人会
 - 10月14日 兵庫教区仏教青年連盟
 - 10月17日 北豊教区小倉組寺族婦人会
 - 10月25日 福岡教区八女組光源寺

編集後記

取材に伺わせていただいたお寺のご住職が、「今は、ご先達からのおみりの蓄えを取り崩している。あらたなおみりの貯蓄をしていないままに。」と語られました。次世代への新たな取り組みが出来ない言い訳は、すぐに口から出てくる自分自身を恥ずかしく省みました。この夏のキッズサンガの行事で、屈託のない子ども達の笑顔、スツップの汗から多くのお育てをいただき、思いをあらたにいたしました。この度、子ども若者ご縁づくり推進委員会も発足されました。教区報もおみりの貯蓄の一助になるようにと願って、お届けさせていただきます。

本願寺山口別院を会場としての仏前結婚式

新郎 山本 一成さん
新婦 三ヶ本那由さん
ご結婚おめでとうございます。

お詫びと訂正

教区報山口No.206(7月号)において、誤記がありましたので、本紙にて訂正し、お詫び申し上げます。

- ・9頁 5款 完納奨励教化費 説明
- (誤) 組教化費 (本年度教区賦課金納付額の4%、7月末日まで納付)
- (正) 組教化費 6月末(完納寺院数×4,000円)
- 10月末(完納寺院数×3,000円)

本願寺山口別院・山口教区教務所
〒七五四一〇〇三三 山口県山口市小郡花園町三番七号
TEL(〇八三) 九七三二四二二 FAX(〇八三) 九七三二四六三二